

第4回全国高等学校情報教育研究会大阪大会の報告

千葉県立柏の葉高等学校教諭
滑川 敬章

1. はじめに

情報科の先生方が集まって研究発表や情報交換を行う全国大会が、8月に大阪で行われた。第4回となる今年は約250名の先生方が参加され、大会は大盛況のうちに終了した。この大会の様子について簡単に報告させていただく。参加できなかった先生方の参考になれば幸いである。

2. 大会概要

【大会テーマ】

「ICTコンパス 一風を受け新たな一歩を踏み出す」

【開催期日】 平成23年8月5日～8月6日

【大会会場】 大阪経済大学

【主催】 全国高等学校情報教育研究会¹⁾

【共催】 大阪府高等学校情報教育研究会、
大阪私学教育情報化研究会

【スケジュール】

8月5日(金)

13:00～13:30 開会式・総会

13:30～15:00 講演

「情報の科学的な理解を深める学習法」

大阪電気通信大学 兼宗進 教授

15:00～17:00 ポスターセッション

17:30～19:30 教育懇談会

8月6日(土)

09:00～11:55 分科会発表

第1分科会 新学習指導要領に向けて

第2分科会 社会と情報

第3分科会 情報の科学

第4分科会 授業評価と育成

12:00～12:30 全体会

3. 開会式・総会

大阪府高等学校情報教育研究会顧問の家本先生の開会のことばで大会が始まった。大勢の先生方が開会式から参加され、広い会場の多くの席が埋まっていた。開会式の後、全国高等学校情報教育研究会の

総会が行われた。平成22年度の事業報告、決算報告、平成23年度の役員や事業計画等の議事後、全国の情報教育に関わる人が参加できるメーリングリストの新設について連絡があった。登録方法については、全国高等学校情報教育研究会のWebに後日掲載されるとのことである。多くの先生方の間で、情報交換ができるようになることを期待したい。



図1 開会式の様子

4. 講演

大阪電気通信大学の兼宗進教授から、「情報の科学的な理解を深める学習法」というタイトルで講演があった。兼宗教授は、教育用プログラミング言語「ドリトル」の開発者であり、また、カードなどの道具を使ってコンピュータ科学を教える教育方法「コンピュータサイエンスアンプラグド」を日本に広く紹介された方である。講演では、「情報の科学的な理解」をキーワードに、情報の科学や技術を教えるヒントを話して下さった。発表資料等は、「カメラ太の日記」というご自身のブログ²⁾に掲載されているので、ぜひ参照していただきたい。



図2 講演の様子

5. ポスターセッション

グループA、グループBの2つに時間をわけて、

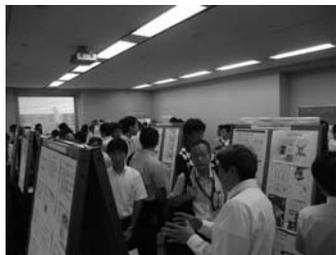


図3 ポスターセッションの様子



図4 工夫を凝らした発表



図5 分科会の様子

それぞれ8件ずつ、16件の発表があった。参加者が増えていることもあり、例年にも増して会場は混雑していたが、その中で熱のこもった発表が行われた。

音のデジタル化やWebアクセシビリティ、2進数と10進数の変換等、具体的な指導方法についての実践発表の他、新しい学習指導要領の科目「社会と情報」の実施に向けての発表、オープンソースを活用した授業環境・実習環境の構築やWindowsの機能を利用した校内ポータルサイトの運用等のシステム系の発表等、いろいろな発表があった。中には、ポスターでの説明と同時にワークショップ形式で行われている発表もあった。「10cmはどれくらい？10秒はどれくらい？」というタイトルで、生徒自身にデータを測らせてそのデータのばらつきを分析させるという授業実践を、参加者に実際に体験してもらいながら説明されていて、とても参考になった。

また、ポスターにいろいろなキーワード等を貼りながら説明されている先生や、プロジェクターやパソコンを使いながらプレゼンする先生など、情報科の先生らしく工夫が凝らされた発表が多かった。

昨年に引き続き、企業の方からも「アルゴリズム」というアルゴリズム体験ゲームの機能強化や授業実践例についての発表があった。ポスターセッションと並行して企業展示も行われており、新しい情報機器や教材も多数紹介されていた。

それぞれの先生方の発表資料は全国高等学校情報教育研究会のWebにアップロードされているので、活用していただきたい。

6. 分科会発表

以下の4分科会に分かれて、それぞれ5～6件の発表があった。

【第1分科会】 新学習指導要領に向けて

【第2分科会】 社会と情報

【第3分科会】 情報の科学

【第4分科会】 授業評価と育成

私は、第2分科会の「社会と情報」の前半の座長をしていたこともあり、すべてを見ることはできなかったが、非常に興味深い発表が多かった。情報科の教員は各学校で1～2名と少なく、他の先生の授業を見る機会が少ないので、このようにすばらしい実践を聞くことができる機会は非常に貴重である。ポスターセッションと違って、分科会発表ではすべての発表を見るできないのが本当に残念である。分科会発表の資料についても、全国高等学校情報教育研究会のWebにアップロードされているので、参照してほしい。

7. おわりに

来年度の全国大会は、私の勤務地である千葉県で実施される。2年ぶりの関東地域での開催となり、また、第5回の節目の大会となるので、これまでの大会のよいところを学びながら、少し新しい試みを行いたいと考えている。会場は千葉市にある東京情報大学をお借りすることが決まっているが、日程はまだ決まっていないので、10月末までには全国高等学校情報教育研究会のWeb上でお知らせできるように準備を進めているところである。多くの先生方からの発表・参加をお待ちしている。

今後も、この大会が教科「情報」を担当する先生方の研究協議や情報交換の場として益々発展していくことを期待している。まだ参加されたことのない先生方は、来年の大会に参加してはいかがだろうか。

参考 URL

- 1) 「全国高等学校情報教育研究会」、<http://www.zenkojoken.jp/>
- 2) 兼宗進、「カメ太の日記 / 2011-08-06」、<http://kanemune.eplang.jp/diary/2011-08-06.html>